主な人権課題【拉致問題】【刑を終えて出所した人】

【拉致問題】

1970年代から80年代にかけて、多くの日本人が不自然な形で姿を消すという出来事が多発しました。これらの事件の中には、北朝鮮に拉致されたのではないかという疑いがもたれたものがあります。

2002年に行われた第1回日朝首脳会談において、北朝鮮は日本人を拉致していたことを認め、謝罪しました。その後、5名の被害者は帰国できましたが、残りの被害者については、北朝鮮から納得できる説明が行われませんでした。それ以降は交渉を重ねても、問題の解決に向けては進展がみられていません。

こうした北朝鮮による拉致問題に関する国民の認識を深めるとともに、国際社会と連携しながら、問題の実態を明らかにし、その抑止を図ることを目的として、2006年に「拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律」が施行されました。

現在では、17名の方々が政府によって拉致被害者として認定されています。さらに、認定した以外にも拉致されたのではないかという可能性を排除できない方々も多数存在しています。

拉致被害者家族の方々が、拉致問題の早期解決に向けて訴える姿を報道などで見るたびに、この問題に関心をもち、理解や認識を深めていくことが極めて大切であると痛感させられます。

【刑を終えて出所した人】

刑を終えて出所した人や、その家族に対する偏見や差別には根強いものがあります。就職や住居の確保の困難さなど、真剣に社会復帰をめざす人たちにとって、厳しい壁が立ちはだかっています。

刑を終えて出所した人が、社会の一員として自立できるようになるためには、本人の強い更生への意欲と併せて、家族はもとより、職場や地域社会などの理解と協力が不可欠です。

2016年には「再犯の防止等の推進に関する法律」が成立し、翌年には、「再犯防止推進計画」が閣議決定されました。この計画のキーポイントとなる重要な支援は就労です。協力雇用主（刑を終えて出所した人等を雇用する協力者）の募集や、就労の継続に必要な生活指導や助言を行う協力雇用主への就労奨励金の制度など、再犯防止へ向けての取り組みが行われています。

さらに、犯罪や非行のない地域社会を築くため、地域住民の理解と参加を得て、「社会を明るくする運動～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～」などの啓発活動が、全国各地で実施されています。

無理解や不寛容さが、刑を終えて出所した人の、更生しようとする意欲を折ってしまうことのないような社会であるべきだと思います。

（参考資料：法務省「人権の擁護」）

市人権推進課（教育庁舎1階）
☎32・2122
FAX33・3525
Mail:jinkensuishin@city.komatsushima.i-tokushima.jp

市民文芸　花みずき歌壇（374）　松並敦子・選

ほっとする雑な感じの無個性に手が出る夜の駄菓子の甘さ
横須町　山﨑　泰子

あれこれと野菜の種を蒔きたれど老いゆくわれには荷が重たくて
赤石町　田原トシ子

母の日を祝いて三年咲きつづけ貰いし蘭は静かに閉じる
横須町　福島　夢栄

目と心をいやしてくるる大木は年中緑でわが家の神木
江田町　深田　伴子

わが机南海歌人に日記帳、メモも積まれて卓上せまし
横須町　三宅　敏恵

新藁の匂いが風に乗りくれば農に生ききし父母の恋しき
田浦町　太田カツミ

早いもの年がゆくのは待ったなし息子の分まで私は生き抜く
櫛渕町　松下　玉枝

猫とわれ今朝の寒さに布団から出るとき「エイッ」と勇気を出して
和田島町　瀧川　益美

花弁を一枚残すコスモスは花でいようと野分に耐える
田浦町　西　教明

炎昼を精いっぱいに咲ききって木槿はひそと花びらたたむ
立江町　湯浅かや子

《今月は、固定資産税4期分、後期高齢者医療保険料5期分、国民健康保険税・介護保険料6期分の納付月です。》忘れずに納期限内に納めましょう。